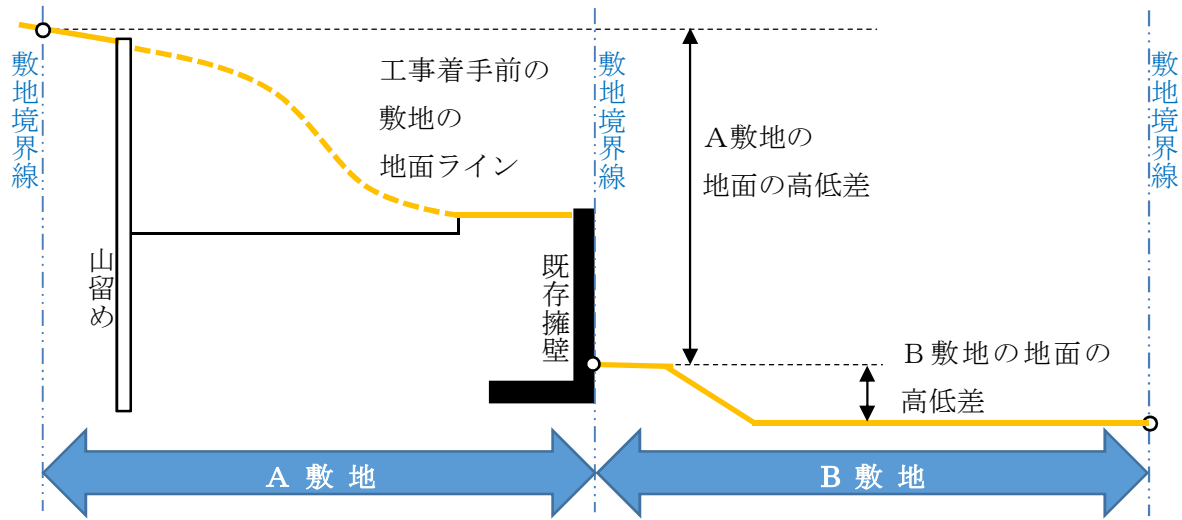


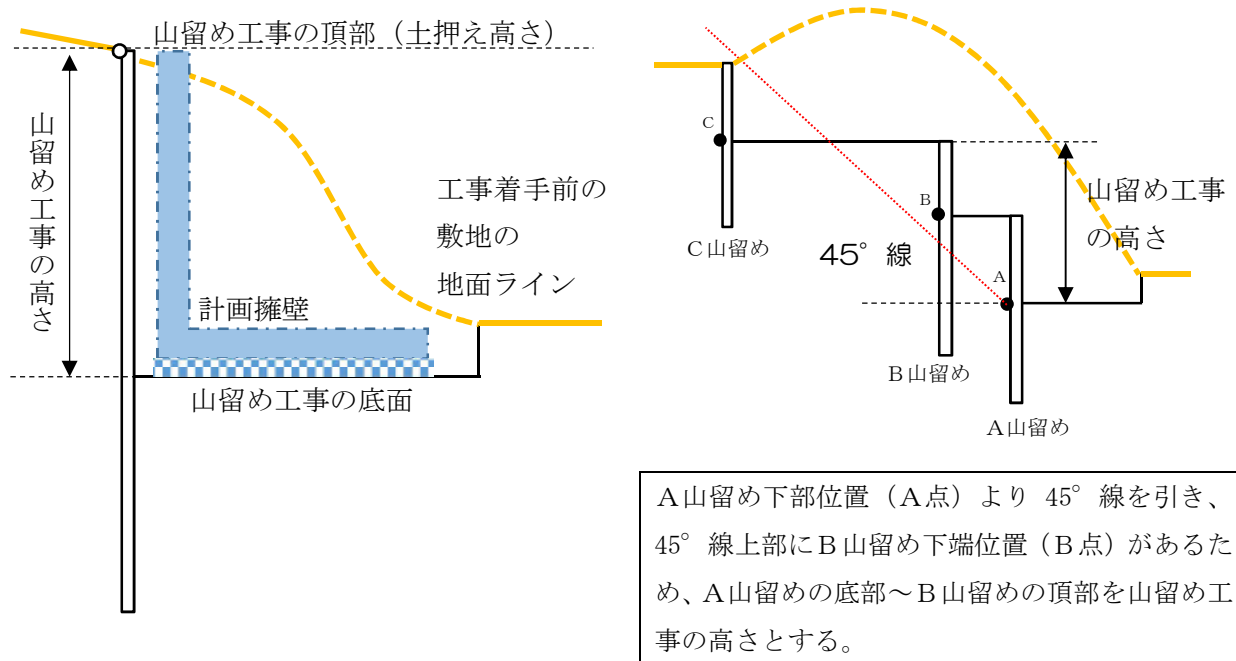
○ 「敷地内の地面の高低差」の取り方について

敷地内の地面の高低差とは、工事着手前の敷地内の最も低い位置から最も高い位置までの高さとする。なお、敷地境界上の既存擁壁等の面がある場合は、既存擁壁等の下部土押し位置を起点とする。



○ 「山留め工事の高さ」の取り方について

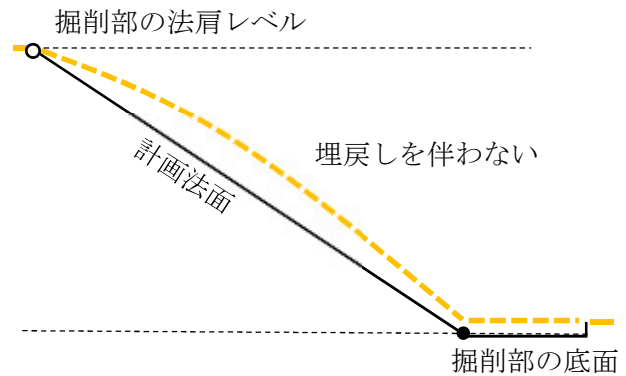
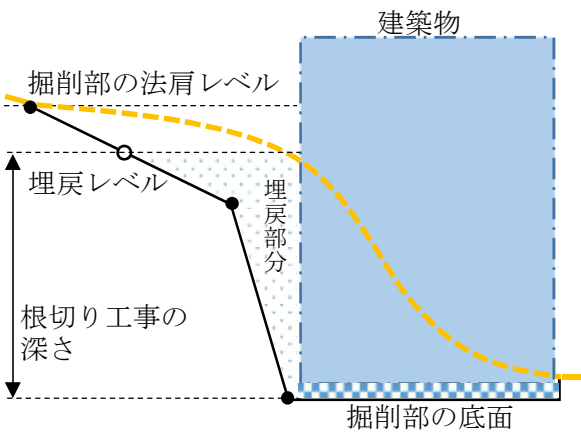
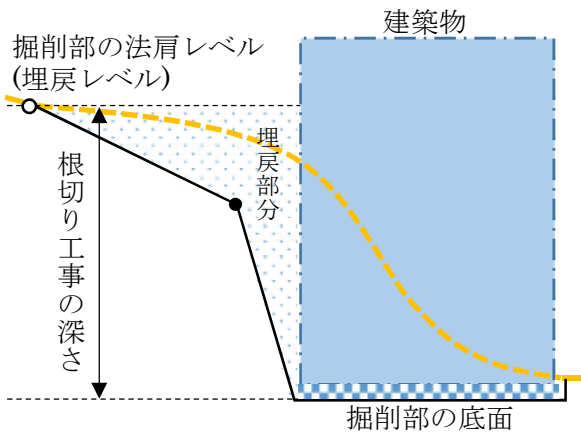
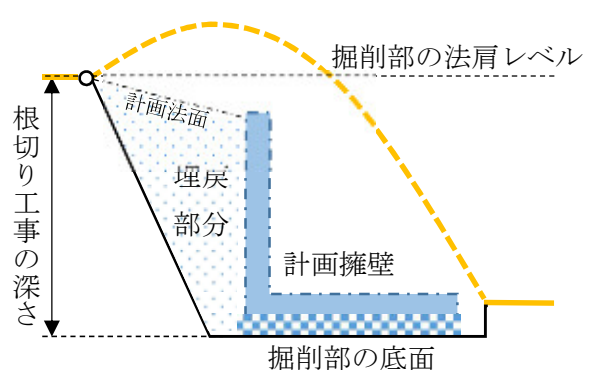
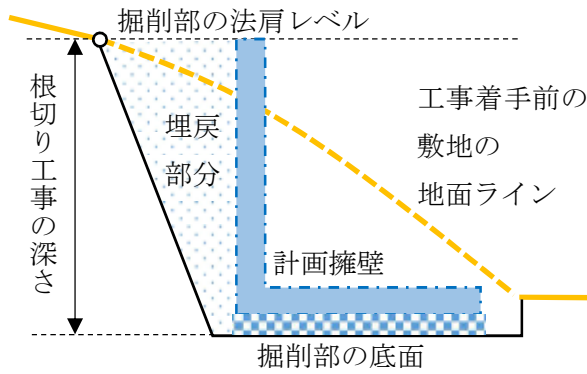
山留め工事の高さとは、山留め工事の底面（砕石等を考慮した位置）から頂部（土押し高さ）までの高さとする。山留めが複数ある場合は、下部山留め下端位置から 45° 線を引き、線上部に上段山留め下端位置がある場合は合計の高さとする。



A山留め下部位置（A点）より 45° 線を引き、45° 線上部にB山留め下端位置（B点）があるため、A山留めの底部～B山留めの頂部を山留め工事の高さとする。

○ 「根切り工事の深さ」の取り方について

根切り工事の深さとは、掘削部の底面（砕石等を考慮した位置）から法肩までの高さとする。ただし、埋戻しを伴わない部分は除く。



掘削部の法肩まで埋め戻さない場合は、埋戻しレベルから掘削部の底面までの深さを根切り工事の深さとする。

埋戻しを伴わない場合は、根切り工事の深さとしていない。